

現在の会員数 一般会員 141名 団体会員 7団体 協力会員 10名 (令和元年7月現在)

## 講演会の報告 (第33回会員集会)

日時: 平成31年4月20日(土)13時30分~15時30分

場所: 日本水道会館7階会議室

講演① 不断水工法について

講師 斎藤 喜久雄 様

大成機工(株) 常務執行役員



講演② 水道用鋼管と水管橋の変遷

講師 今井 俊雄 様

JFEエンジニアリング(株) アクア事業部長



講演①では、創業当時より開発してきた製品の開発経緯や特徴などをお話いただきました。漏水防止金具や特殊押輪、補修用ジョイント、ストッパーなど、現在では一般的に使われる製品ですが、それらは水道事業体のニーズやアドバイスから生まれたことがよくわかりました。また、不断水工法の開発ではアメリカの技術を導入し、そこに分岐を加えたり耐震性を持たせる工夫をし製品化したことを明かされました。

講演②では、水道用鋼管の製造や技術の変遷をお話いただきました。水道用鋼管は、明治のリベット鋼管が最初で、昭和4年には上水協議会の規格ができ普及が進みました。特に、大口径管で多く使用されており、現在は日本水道鋼管協会(WSP)が規格や基準の制定、技術研究開発を推進しているそうです。

水道用鋼管に関する製品技術では、日本最古の水管橋や、長距離水管橋の代表例である富士川水管橋の計画から施工までの苦労話を紹介されました。また、耐用年数100年に向けた防食塗装、既設管更新のPIP工法、断層対策のための断層用鋼管など、最新技術の紹介もあり、参加者は興味深く聞き入っていました。



## 定例幹事会の報告

日時: 平成31年4月20日(土) 11時~12時

場所: 日本水道会館7階会議室

議題: 総会議案の確認、「水を語る」出版の準備、  
全員集会の日程および講師について、他

## 編集後記

水を語る会10周年を記念した出版企画「水を語る」の準備が大詰めを迎えております。近日中に皆様へお知らせできると思いますのでご期待ください。

引き続き本会の活動に対しご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。(幹事 左 卓)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。  
詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>